

| | | | |
|-------|------------------|--------|----------|
| 講義名称 | 児童家庭福祉 | 担当教員名 | 茂木 健司 |
| 科目群 | 専門科目 (M) | | |
| 科目区分等 | 保育の本質・目的 (EG) 必修 | 単 位 | 2 |
| 対象学年次 | 1年・秋学期 | ナンバリング | CMEG1103 |

| | |
|----------------|---|
| 授業のキーワード | 子ども家庭福祉の基礎理念、現代社会と子どもを巡る諸問題、子ども家庭福祉政策 |
| 授業の概要 | 子ども家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している今日的な課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的知識習得のために、バズセッションやロールプレイなどを取り入れ、アクティブラーニングを行います。 |
| 期待される学習成果 (目標) | 1. 基礎的知識を得られ、子ども家庭福祉の理念や制度を説明できるようになります。 2. 困難な状況におかれた子どもやその家庭への支援について、多角的にとらえられることができるようになります。 |

| 授業展開 | | |
|------|-------------------|--|
| 回 | テーマ | 内 容 |
| 1 | ガイダンス、受講上の留意点 | スケジュールなど全体の枠組みの確認と、学びの方法を確認します。 |
| 2 | 現代社会における意義と歴史的変遷 | 子ども家庭福祉の理念と概念、歴史的変遷、現代社会と子ども家庭福祉について学びます。 |
| 3 | 子どもの人権擁護 | 子どもの人権擁護の歴史的変遷、権利条約、現代社会における課題について学びます。 |
| 4 | 子ども家庭福祉の制度と実施体系 | 子ども家庭福祉の制度と法体系、実施体系、児童福祉施設、専門職について学びます。 |
| 5 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (1) | 少子化と地域子育て支援、母子保健と子どもの健全育成について学びます。 |
| 6 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (2) | 多様な保育ニーズへの対応について学びます。 |
| 7 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (3) | 子ども虐待・DV (ドメスティックバイオレンス) とその対応について学びます。 |
| 8 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (4) | 子ども虐待・DV (ドメスティックバイオレンス) とその防止について学びます。 |
| 9 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (5) | 社会的養護について学びます。 |
| 10 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (6) | 障がいとともに生きる子どもへの対応について学びます。 |
| 11 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (7) | 少年非行への対応について学びます。 |
| 12 | 子ども家庭福祉の現状と課題 (8) | 貧困家庭、外国にルーツを持つ子どもとその家庭への対応について学びます。 |
| 13 | 子ども家庭福祉の動向と展望 (1) | 地域における連携・協働とネットワークについて学びます。 |
| 14 | 子ども家庭福祉の動向と展望 (2) | 次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進、諸外国の動向について学びます。 |
| 15 | まとめとふりかえり | まとめと振り返りを行い、自身の今後の学習課題の明確化を目指す。また、レポートの説明。 |

| | |
|----------------------|--|
| 定 期 試 験 | 子ども家庭福祉全体の理解を問い、自身の今後の学習課題を明確にするレポート |
| 授 業 時 間 外 学 習 | 教科書や参考書を積極的に読み進めることが望ましい。 |
| 評 価 方 法 | 学期末のレポート60%、提出物30%、授業貢献度10%により総合的な評価を行う。 |
| 使用する教科書 (必ず購入してください) | 川並利治・和田一郎・鈴木勲編『保育者養成のための児童家庭福祉』 (仮題) 大学図書出版 2018年3月出版予定 |
| 参 考 文 献 | 子どもの貧困白書編集委員会編『子どもの貧困白書』明石書店 爽竹桃ジン『ちいさいひと』『新・ちいさいひと』小学館 |